

## 前文

- ・私は、大阪維新の会大阪市議員団を代表し、この1年間の横山市政を振り返ると共に、今後の市政運営について「基礎自治機能の拡充」「教育・子育て施策の充実」、そして「都市魅力の向上」の三つのテーマについて重点的に質問させていただきます。

(115 字)

## Q 1 基礎自治機能の拡充について

### (1) 犬猫殺処分ゼロの次のステージについて

- ・まず、犬猫殺処分ゼロの次なるステージについて、お伺いします。
- ・本市では来年開催される大阪・関西万博までに達成することを目標に、健康局をはじめとする関係所属が、様々な動物愛護施策に取り組んでこられました。
- ・その結果、ボランティアの皆様のご協力もあり、犬猫の殺処分数は大幅に減少することができ、「理由なき殺処分ゼロ」は、すでに達成できている状況となりました。これまでの努力とその成果を大いに評価し、関係者の皆様に敬意を表します。
- ・今後は、万博開催を機にその理由からやむを得ず殺処分される犬猫もできる限り少なくすることが必要であり、動物を遺棄や虐待から守り、適正飼育するための取り組みが必要です。
- ・そのためにも、港湾エリアの緑地で活動しているボランティア団体からは、兼ねてから、「公園猫 適正管理推進サポーター制度」に準じた新たな制度が求められており、早期に実現すべきと考えます。
- ・また、城北公園内に設置した動物愛護体験学習センターのような公共の場を活用した、行政とボランティアとの連携は、今後も広げて頂きますようお願いをいたします。
- ・さらに、国などでは、「ワンヘルス」の理念により、人と動物、それを取り巻く環境は、相互につながっていると包括的に捉え、その関係者が緊密な協力関係を構築し、分野横断的な課題解決のために活動していこうという取り組みも行われています。
- ・本市においても、今後、殺処分の更なる減少や人と動物の共生する社会の実現に向け、「理由なき殺処分ゼロ」に続く、もう一歩進んだ取組を推進していくべきと考えますが、市長のご所見をお伺いします。(666 字)

## 1 基礎自治機能の拡充について

### (2) 介護保険料について

- ・次に、介護保険料についてお伺いいたします。
- ・本市の令和6年度第9期 介護保険料の月額額は9,249円となり、その基準額が全国で最も高いと、テレビや新聞などのメディアでも取り上げられてきました。
- ・今後も、一人暮らしの高齢者が増え、介護を必要とされる方も増加することから介護保険料もさらに上昇することが見込まれます。

- ・ これまでも、適正化と介護予防の取組に努めてきたところですが、今後はより強力で事業を推進していく必要があります。
- ・ 先の決算特別委員会で、保険料の負担低減につなげるために、事業者へのインセンティブなど、これまでにない新たな介護予防の取組を、外部有識者や民間の知恵や力も活用しながら検討をするべきと申し上げたところです。
- ・ 市長も早急な対応が必要とのご認識から、「大阪市介護予防推進プロジェクトチーム会議」を12月2日に開催し、介護予防施策の方向性と取組について検討をされたと聞いています。
- ・ 今後の介護予防、健康寿命延伸につなげていくために、しっかりとしたエビデンスに基づき、将来の社会状況を見据えた取組が必要であると考えますが、今後本市としてどのように進めていくのか、市長のご所見をお伺いします。（495字）

## 1 基礎自治機能の拡充について

### (3) 市民に信頼される組織について

- ・ 次に、市民に信頼される組織についてお伺いします。
- ・ 昨年度は、職員の不適切事案が相次いだため、サービス規律刷新PTや外部監察専門委員などの体制を用いて、これまで対応に取り組んで来られているところです。
- ・ 令和5年度の懲戒処分件数はこれまでの推移を上回る91件となっており、そのうち、最も懸念する一般非行行為が27件と令和4年度の12件の倍以上である事については決して看過できるものではありません。
- ・ また、さらに交通規律違反も増加しているにも関わらず、令和6年度の市長部局等の重点取組は前年度と同様に「飲酒時の非行行為」と「ハラスメント事案」のみとなっていることは課題と考えます。
- ・ 今年度に入っても、個人情報漏洩だけにとどまらず、窃盗や暴行など、市民から見れば到底理解出来ない報告も入って来ており、このようなサービス規律違反のみならず、ガバナンスの問題とも言える不適切な事務処理もあり、今の組織に大きな課題があると言えます。
- ・ また、組織の課題は他にもありますが、多くの課題に対応するためにも、これまでの小手先の人事異動だけに終わる事なく、部局の統合や見直しも含めて抜本的な組織編成の見直しの検討が必要と考えます。
- ・ 目標が無ければ事業は進みません。
- ・ 改革の目標を設定し、不祥事事案の撲滅、ガバナンス体制の強化を行い、市民に信頼される行政組織を構築するべきと考えますが、市長のご所見をお伺いします。（583字）

## 1 基礎自治機能の拡充について

### (4) 水道事業の将来に向けた経営効率化について

- ・次に、水道事業の将来に向けた経営効率化についてお伺いいたします。
- ・これまでの経営改革の取組においては、経営形態のあり方や運営手法の変更として、大阪府や企業団との統合協議、上下分離方式による公共施設等運営権制度の活用など、タイミングに応じた様々な検討を行い、効率的で持続可能な事業運営について議論し、改正水道法の適用によるPFI管路更新事業を開始したところです。
- ・しかし、水道局の今後の経営については、令和13年度に赤字になる見通しであり、持続性を確保するため、さらなる経営基盤の維持・強化を進め、できる限りの経営努力を行い、コスト削減に努めていくとのことでした。
- ・他都市における経営改善策については、広域連携や官民連携などの様々な手法が検討されています。例えば、大阪府域では、大阪広域水道企業団に経営統合する事業体が増えており、令和7年度には19団体になるとのことです。
- ・また、持続可能な事業運営のため、すでに政令市において5都市が直近5年で値上げの実施や予定をしているところです。
- ・本市においても、中長期的な視点では、人口減少社会の影響により、水道料金収入の減少に加えて、物価高騰からもコスト削減には限界があると理解しています。しかし、受益者負担を求める前に、まずは、事業継続のための、コストの詳細な精査が必要と考えます。
- ・そのために、国内外の水道事業の事例も含めて、これまでの水道局の経営改革の取組の総括を行い、さらなる民間活力の導入などを含めて、本市水道事業として現時点でどういった方法や施策が可能か、検討すべきと考えますが、市長のご所見をお伺いします。(667字)

## 1 基礎自治機能の拡充について

### (5) 行政区域を越えた効率的な業務執行体制のあり方検討について

- ・次に、行政区のブロック化についてお伺いいたします。
- ・先般の決算委員会では、行政区のブロック化の取り組みにより、区CM事業予算をブロック単位で柔軟に執行できる仕組みが構築され、ブロック化によるメリットを確認することが出来ました。
- ・これまでの取組に加えて、更なるニア・イズ・ベターの拡充となるように、今後予測できる将来の課題も含めて、どのような分野までブロック化の運用が可能かどうかを検討すべきと考えます。
- ・さらに、その効果的な体制の素案を複数、示していただく必要があります。
- ・先日市長は、ブロック化に関して、外部の有識者の意見を聞くオープンな場を持たれたとお聞きしましたが、そのような有識者の意見も参考にしながら、効果的なブロック化の実現に向けてのロードマップを示していただきたいと考えますが、市長のご所見を伺います。(356字)

## 1 基礎自治機能の拡充について

### (6) 消防広域化の取組について

- ・先ほどお聞きした水道事業の将来検討に合わせて消防の広域化の取組についてお伺いします。
- ・現在大阪府下でも、「大阪府消防広域化推進計画」に基づき、広域化の重点取り組みや、連携・協力が進められており、今回、大阪市と松原市との指令の共同運用が来年度から開始されることは広域化の1歩前進と言えます。
- ・しかし、大規模災害時の連携についてはまだ課題が残っている状況です。
- ・令和6年4月総務省消防庁において、「市町村の消防の広域化と連携・協力に関する基本指針」が一部改訂され、「中心消防本部」を新たに位置づけるとされています。
- ・そこで、大阪府と連携し、本市が「中心消防本部」を担い、広域災害に備える防災力の強化に努めるべきと考えますが、市長のご所見をお聞きします。(321字)

## 1 基礎自治機能の拡充について

### (7) アセットマネジメントの必要性について

- ・次に、アセットマネジメントの必要性についてお伺いします。
- ・本市では、これまでも持続可能な施設管理に取り組んでいるところです。
- ・現在は、区民センターなどの建替えについて計画が必要とされる中で、市民利用とは別の施設が既に建替えに向けて検討されており、その基準は、持続可能な行政運営として市民に対して明確に示せるものとは言えません。
- ・今後の施設全体についての、建替えや維持管理には、これまでのあり方検討に加えて、新たな市民利用の目線により一般施設を大きく分類することや今年度の施設の維持管理費が年間約1200億円となることから各局においても建物の維持管理コストを意識するとともに、複合化の可能性を見出すため、施設の詳細な精査が必要です。
- ・さらに、今後の維持管理費を削減するためにも官民連携手法の取り組みをさらに進めるべきと考えます。この様なあり方検討の見直しと、官民連携について、市長のご所見をお伺いします。(397字)

### (返し)

- ・まずは、施設の分類を行っていただき今後は全局の土地や施設を総括的にみる仕組みとしてアセットマネジメントが必要と考えますので検討を要望します。(70字)

## 2 教育・子育て施策の充実について

### (1) 小中学校の適正配置について

- ・次に、学校配置の適正化について伺います。
- ・わが会派では、子供の学習環境改善のために、以前より一刻も早く学校の適正配置に取り組むべきと申し上げてきました。小規模校には良い面もあるものの、クラス替えができないことで人間関係が固定化するなどにより、子どもたちの成長に与えるマイナスの影響は大きいと考えます。
- ・全体的には、再編整備計画の着実な進展があり、子どもたちの教育環境の改善が図られていると感じていますが、一部、取組が進んでいない学校もあるようです。
- ・今般の市会では、学校活性化条例の改正案が提出され、小学校に続き、中学校の適正配置についても、条例で定めて取り組んでいくとのことでした。
- ・そこで、本市における適正配置の必要性やその考え方について、改めて教育長のご所見をお伺いします。
- ・また、適正配置を条例で規定する意義についてもお伺いします。(364字)

## 2 教育・子育て施策の充実について

### (2) 教育環境の改善について

- ・学校配置の適正化については、様々な意見があり、時間を要するとは思いますが、子どもたちの教育環境を改善するためには進めていかなければならない取組と考えます。
- ・関係する生徒や保護者、地域住民に対して、丁寧な説明や対応に努めていただき、中学校の適正配置の取組についても滞ることなく着実に進めていただくよう要望しておきます。
- ・また、教育環境の改善が必要なのは、小規模校だけではなく、児童が急増している学校についても同様です。
- ・校舎の増築についても、学校の土地面積の関係から、これ以上の増築が困難な学校や、児童数に対して運動場の面積が小さく、体育の授業などに支障をきたす学校も出ていると聞いています。
- ・近年、市内中心部でのタワーマンションの建設による影響とと思われますが、急激な人口流入等により、子どもたちの教育環境にも影響が出ていることから、大阪市のまちづくりに大きく関わる問題でもあります。
- ・この現状をどのように認識し、今後どのように対応するのか、市長のご所見をお伺いします。(430字)

### (返し)

- ・市長がリーダーシップをとり、問題に取り組むとの言葉もいただきました。市内の子どもたちのために、ぜひ、しっかりと取組を進めていただくようお願いしておきます。(77字)

## 2 教育・子育て施策の充実について

### (3) 0～2歳児の保育無償化について

- ・次に0から2歳児の保育無償化について、お伺いします。
- ・横山市長が発表された「0から2歳児保育無償化実現に向けたロードマップ」に沿って、令和6年9月から、まずは、第2子以降の保育料が無償化されたところです。
- ・対象の保護者からは、「負担が軽減されて良かった」との声を数多くお聞きしています。
- ・しかし、今回の対象は認可保育施設等に限られており、企業主導型保育事業については今回対象となっていません。
- ・そのため、企業主導型保育事業が保護者から敬遠される可能性があり、新たな待機児童が発生するのではないのでしょうか。
- ・市長におかれましては、この第1ステージにとどまらず、すべての子どもたちが平等な子育て支援を受けられるように、ロードマップを最後までやりきっていただきたいと考えます。
- ・しかし、現状のままでは認可保育所への入所希望が増えて、「保育を必要とする人が入所できる環境の確保」が出来ないおそれがあります。
- ・そのため、現在、待機児童解消に繋がっている企業主導型保育事業の0から2歳児についても、第2子以降の保育料を無償化すべきと考えますが、市長のご所見をお伺いします。

(475字)

## 3 都市魅力の向上について

### (1) 新たな商店街支援について

- ・次に、新たな商店街支援についてお伺いします。
- ・大阪市の商店街は、戦後、高度経済成長期に大きく発展し、地域経済の活性化に寄与してきました。
- ・現在も約430の商店街があります。
- ・その現状を見ると、インバウンドの需要により、活気や賑わいがある商店街や、近隣住民の日常の買物に必要とされる商店街もあります。
- ・ところが、店主の高齢化や後継者不足もあり、空き店舗の増加といった課題を抱えているように見えます。
- ・大阪市は、これまでもアーケードやカラー舗装、街路灯の老朽化にあわせた様々な商店街支援策を実施されていますが、先日の決算特別委員会において、我が会派から、現状の支援策について、時代に即していない部分を指摘したところです。
- ・商店街の活性化を図ることで、周辺全体の活性化にも繋がることから、今後は、都市の美観や回遊性を高め、にぎわいを創出するウォーカブルなまちづくりといった観点も重要ではないでしょうか。
- ・そのためには、各商店街が現状をどう考えているのか、それぞれのビジョンを把握し、ニーズ

に合った支援策を講じていくことが必要であると考えます。

- ・横山市長は、市長選の公約において「商店街の活性化に向けた支援策の強化」を掲げておられました。どのようにお考えになっているのか、市長のご所見をお伺いします。（534字）

### 3 都市魅力の向上について

#### (2) 喫煙所の整備について

- ・次に、喫煙所の整備についてお伺いします。
- ・先日の決算特別委員会で、横山市長は、目標としていた140か所の喫煙所が確実に確保できる見通しとなり、令和7年1月27日に全市域での路上喫煙禁止をスタートさせる事と、さらに、商業施設等を含め喫煙可能な場所を万博開幕までに概ね300か所確保できる見通しであることを、明らかにされました。
- ・しかし、喫煙所のニーズがあると思われる場所であっても、周辺に喫煙所の設置計画がないケースもあります。
- ・路上喫煙のないまちを実現していくためには、喫煙所の充実が大変重要な要素であり、その優先度が高いエリアがどこなのか、例えば、ビッグデータを活用して人通りの多いポイントを特定し、その周辺の路上喫煙の状況を重点的に確認することなどが必要です。
- ・改正条例施行後の実態を速やかに把握し、必要に応じた対策の検討をすべきと考えますが、市長の所見をお伺いします。

(378字)

### 3 都市魅力の向上について

#### (3) 海外諸都市との交流の推進について

- ・次に、国際化に向けた取り組みについてお伺いします。
- ・来年の万博には160以上の国が参加することになっており、大阪・関西の魅力を世界に発信するとともに、海外諸都市との交流を促進する絶好の機会です。万博があったからこそ繋がることのできる新たな都市や国があると思われるほか、これまで交流してきた都市とも新たな分野で交流を深めるきっかけになるとも考えます。
- ・また、海外企業と在阪企業とのビジネス交流を推進することにより、大阪の経済活性化につながることも期待できます。
- ・万博開催の機会をとらえて、大阪の経済成長に寄与する目的で海外諸都市との交流を、推進していくべきだと考えますが、今後国際化を目指し、どのような国際交流に取り組んでいくのか、市長のご所見をお伺いします。（324字）

### 3 都市魅力の向上について

#### (4) 身近な地域社会における多文化共生の施策の連携について

- ・次に、国際化を目指す大阪の基盤として、多文化共生の施策の連携についてお伺いします。
- ・大阪では、すでに来阪外国人や市内の外国人住民が増加しており、今後もさらに増加が見込まれます。外国の方もそれを迎える地域の方も安心できる環境整備が必要だと考えます。
- ・これまでも令和2年に策定された大阪市多文化共生指針のもと、全市で取り組んでいるとは考えますが、予算やマンパワーに限りがある中で、施策の進捗が外国人住民の増加するスピードに追いつけていないのではないのでしょうか。
- ・今、市内小中学校や福祉現場、医療施設においては、さらなる日本語指導の充実強化や翻訳機器の活用等が求められています。
- ・また、地域においても言葉だけでなく文化や生活習慣への理解も課題であることから、今年度は「多文化共生の 地域づくりに向けたエリアプログラム支援事業」を実施されています。
- ・今後は、さらなる国際化に向けて、インターナショナルスクールの誘致や翻訳支援などに加えて災害時の対応や様々な施策が、各区・地域のニーズに迅速かつ的確に対応されることが重要です。
- ・より効率的・効果的に実施するためにも、連携にかかる体制の検討を急ぐべきと考えますが市長の見解を伺います。(507字)

### 3 都市魅力の向上について

#### (5) 大阪城東部地区や京橋駅周辺を含めた大阪城公園周辺地域の今後のまちづくりについて

- ・次に、大阪城東部地区の今後と京橋駅周辺との連携についてお伺いします。
- ・大阪の成長発展に向けては都市の南北軸、東西軸の強化を図ってきており、キタではグラングリーンおおさかが一部先行開業しました。
- ・ヒガシでも新たなまちづくりが進んでおり、大阪城東部地区の1.5期開発では、民間活力導入による大阪公立大学のキャンパス整備をはじめ、メトロの新駅や駅ビルに加えて、大規模集客・交流施設等が整備される予定です。
- ・今後、大学を先導役とした国際色あるまちづくりがより一層進むことを期待しております。
- ・京橋駅周辺についても、公民連携した京橋公園・コムズガーデンのリニューアル整備や、現在暫定利用されているイオン京橋店の跡地の再開発の検討など、新たなまちづくりの動きが出てきております。
- ・一方で、JR片町線・東西線の地下化の事業再開に向けて調査等が進められるとともに、大阪城東部地区と京橋駅周辺をつなぐ豊里矢田線についても鳴野橋の対面通行化の検討が進められている状況であります。
- ・さらに、森之宮1.5期の用地では万博期間中にイー・メトロモビリティタウンが開催されます。

- ・その地域全体の回遊性向上のため、京橋駅周辺まで自動運転バスの実証実験が実施されており、今後のまちづくりに大きく寄与することも期待しています。
- ・こうした状況のもと、大阪城東部地区や京橋駅周辺を大阪城公園周辺地域全体として一体的に捉え、長期的な視点からまちづくりのビジョンを早期に示すべきだと考えますが、市長のご所見をお伺いします。（631字）

### 3 都市魅力の向上について

#### (6) 西成特区構想におけるまちづくりについて

- ・次に、西成特区構想におけるまちづくりについてお伺いいたします。
- ・西成特区構想は、西成が変われば大阪が変わるという考えのもと、平成25年度から、子育て世代に関心が高い教育やまちづくりを中心に、全体で8分野の取組が進められています。
- ・そのまちづくりの分野についても、現在進行中の第三期では、西成区全体で子育て世代の定住を促進する魅力的なまちづくりに向けて、新今宮と天下茶屋の駅周辺のまちづくりを掲げ、本格的な取組・検討を開始するとされています。
- ・先日、旧あいりん総合センターにおいて、裁判所による強制執行が実施されたことが報道されていました。退去された占有者の方々に対しては、引き続き福祉的な支援につなげる取組をすすめていただく一方、耐震性を備えていないセンターの建物は、今後、解体が進められることとなります。
- ・我が会派としても、ポテンシャルが高いこの2つのエリアのまちづくりが、大阪市全体の発展の一翼を担うものと期待していることから、今後、どのように取組を進めていくのか、市長のご所見を伺います。（439字）

#### (返し)

- ・西成を含むミナミの発展が南部エリア全体の発展と繋がっていくよう進めていただきたいと思います。（45字）

### 3 都市魅力の向上について

#### (7) 万博閉幕後の夢洲を核としたベイエリアの成長とその波及について

- ・次に、今後のベイエリアの成長についてお伺いいたします。
- ・現在、I Rの準備工事が始まり、夢洲2期開発に向けて、万博開催後のマスタープランが検討されています。
- ・あわせて、舞洲を経由した北ルートを含む夢洲アクセス鉄道の検討も始まることから、夢洲を核とした市域内の発展が見込まれてきました。
- ・今後、夢洲の経済・賑わいを、点ではなく大きな円として大阪全体に波及させていくためにも、官民が連携してベイエリア内の回遊性向上や賑わいの連鎖など、より具体的な検討が必要

です。まずは夢洲に隣接する咲洲、舞洲や築港を含めた大阪ベイエリア全体を将来的に発展させ続けるための検討が必要だと考えています。

- ・既存の形にとらわれることのない成長型のベイエリアといった観点も含めて、今後、民間の意見も取り入れながら、エリア内の包括的な戦略あるいはビジョンの策定を進めていく必要があると考えていますが、市長のご所見をお伺いします。（391字）

### **(返し)**

- ・市長の大阪ベイエリアに対する強い考えはよくわかりました。
- ・ベイエリアの発展は必ず大阪全体の発展と成長に寄与する核となるものだと考えていますので、引き続きしっかりと取り組んでもらいたいと思います。（296字）

## **3 都市魅力の向上について**

### **(8) Beyond EXPO 2025 について**

- ・最後に、先ほど市長がご答弁で言われました、「Beyond EXPO 2025」について伺います。
- ・いよいよ万博開催まであと117日となりました。
- ・万博開催都市としてこの万博を成功に導くことはもちろんのこと、そのレガシーを継承し、大阪の成長・発展や市民の暮らしの向上へとつなげていくことが重要であると考えています。
- ・これまでも府市一体となり「大阪の再生・成長に向けた新戦略」を策定し、2025年までの目標として取り組んできました。
- ・その次なる目標として、万博後の大阪の未来を見据えた新たな成長戦略の策定に向け、分野別にタスクフォースを設置し、府市一体となって検討を進めていくことが副首都推進本部会議で確認されています。
- ・大阪の持続的な成長・発展には、世界から「ヒト・モノ・投資」を呼び込むための新たな仕掛け作りが重要です。
- ・これを市民の暮らしの向上につなげていくためにも、万博で披露される介護予防や健康寿命の延伸として寄与する「ライフサイエンス」や「ヘルスケア」分野をはじめとした、最先端技術を社会実装していくことが非常に重要と考えます。
- ・そのため、大阪の未来への道筋を示す「羅針盤」として、新たな成長戦略の策定に取り組み始めるには、ベストなタイミングと言えます。
- ・そこで、この新たな成長戦略である「Beyond EXPO 2025」において、大阪の未来をどのように描き、具体的にどのように実現していこうと考えているのか、市長のご所見をお伺いします。（583字）

## 結文

- ・以上、市政各般にわたり質問させていただきました。
- ・基礎自治機能を強化すること、教育や子育てに関する施策の充実は未来を担う子どもたちの成長を支える重要な要素です。
- ・大阪の都市魅力をさらに向上させるためには、まちづくりや、商店街の支援、さらには海を越えた交流を通じて国際都市大阪を確立させる必要があると考えます。
- ・市民目線で大阪をより魅力的で、より住み良い都市へと進化させることが重要ではないでしょうか。
- ・私自身、大阪のど真ん中で生まれ育ち、常に東京に負けたくないという青春時代を過ごし、今でもさらにその思いは強くなり、世界から選ばれる大阪を創れるように力を尽くしてまいります。
- ・来年はいよいよ大阪・関西万博です。一丸となり、取り組んでいきましょう。
- ・ご清聴頂きありがとうございました。（330字）